

## 会 議 概 要

会議の名称	平成27年度戸田市外部評価ヒアリング(図書館・郷土博物館サービスの充実)																		
開催日時	平成27年11月19日(木) 14時20分 ~ 15時30分																		
開催場所	5階 大会議室B																		
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">委 員 長</td> <td>佐藤 徹</td> </tr> <tr> <td>副 委 員 長</td> <td>長野 基</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>引地 智宏</td> </tr> <tr> <td></td> <td>澁谷 久美子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地崎 由美子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>西澤 和良</td> </tr> <tr> <td>教育委員会事務局 次 長</td> <td>鈴木 研二</td> </tr> <tr> <td>図書館・郷土博物館 副参事</td> <td>熊谷 尚慶</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主 幹 山本 豊弥</td> </tr> </table>	委 員 長	佐藤 徹	副 委 員 長	長野 基	委 員	引地 智宏		澁谷 久美子		地崎 由美子		西澤 和良	教育委員会事務局 次 長	鈴木 研二	図書館・郷土博物館 副参事	熊谷 尚慶		主 幹 山本 豊弥
委 員 長	佐藤 徹																		
副 委 員 長	長野 基																		
委 員	引地 智宏																		
	澁谷 久美子																		
	地崎 由美子																		
	西澤 和良																		
教育委員会事務局 次 長	鈴木 研二																		
図書館・郷土博物館 副参事	熊谷 尚慶																		
	主 幹 山本 豊弥																		
事務局	経営企画課 早川課長 吉田主事																		
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 外部評価委員紹介</li> <li>3 対象部局あいさつ</li> <li>4 外部評価ヒアリング</li> <li>5 閉会</li> </ol>																		
会議の経過	別紙のとおり																		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度施策評価シート</li> <li>・平成27年度事務事業評価シート</li> <li>・外部評価ヒアリング事前質問(回答)</li> </ul>																		

議事内容

事務局	<p>1 開会</p> <p>2 外部評価委員紹介</p> <p>3 対象部局あいさつ</p> <p>4 外部評価ヒアリング</p> <p>●施策 12 図書館・郷土博物館サービスの充実</p> <p>○「事務事業の妥当性」について</p>
委員長	<p>それでは、「事務事業の妥当性」について、質問させていただく。 委員の皆さん、質問願う。</p>
委員	<p>月曜日を休館日としているが、無休にはできないのか。</p>
担当者	<p>最近、図書館に関する条例を改正したことにより、第1、第3月曜日については、開館するようにしている。</p> <p>なお、極力、開館するように努めていきたいところであるが、蔵書の整理があることに加え、現在の人員だけで無休で図書館を運営していくことに限界があると考えている。</p>
委員	<p>行政評価シート「施策の主な取り組み」に学校教育との連携とあるが、この取組について、予算があまりないような印象を受けた。学校教育との連携については、どのようなことを実施しているか。</p> <p>また、行政評価シート「施策の主な取り組み」に知の拠点施設としてのPRとあるが、これに関する事務事業がないように感じるが、どのようなことを実施しているのか。</p>
担当者	<p>学校教育との連携については、博物館にいる学芸員を学校の授業に派遣するなどして、博学連携を行い、学校教育との連携に努めている。そのようなこともあり、図書館の維持管理費用に比べると大きく予算を確保していないところである。</p> <p>知の拠点施設のPRとしては、ホームページの充実や図書館に関するポスター・チラシの作成を行っている。また、この取組は生涯学習課と連携して、市民大学講座を実施するなど、一つの事務事業として特出ししていないところである。</p>
委員	<p>知の拠点施設の充実であれば、説明のとおりだと考えることもできるが、知の拠点施設のPRとしているのであるから、もっと力を入れたPRが必要なのでは</p>

	<p>ないか。今の説明を踏まえて、PRと考えると片手間なPRになっていると感じるため、取組として、記載する必要はないと思うがいかがか。</p>
委員長	<p>確かに取組に記載がされているにも関わらず、それに対応する事務事業がないのは、事務事業の妥当性に疑念を感じる。</p>
担当者	<p>そのことについては、今後検討していきたい。</p>
委員	<p>図書館の改革については、どのように考えているか。</p>
担当者	<p>図書館の改革案については、昨年度末に図書館の改革に関する提言書が議会の所属委員会から提出された。提言書の中には、個別具体的なものがあり、実現が難しいものもあった。そのため、提言書の理念を反映して、図書館改革に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>具体的な改革としては、本を貸し出す本来の図書館業務だけでなく、カフェ等を設けることで市民のコミュニティの場にするといった検討をしている。</p> <p>なお、図書館改革に当たっては、図書館・郷土博物館協議会という既存の委員会とともに慎重な検討を重ねる必要がある。</p>
委員長	<p>図書館改革における検討結果はいつ頃出す予定か。</p>
担当者	<p>図書館の指定管理者制度の導入に関する検討については、今年度中に結論を出したいと考えている。</p> <p>カフェ等の検討については、未定であるが現在の建物の構造上、実現は困難ではないかと考えている。</p> <p>なお、報告書の中にあつたBGMの導入等はしている。</p>
委員長	<p>指定管理者制度の導入については、現時点でどのような方向性で進んでいるか。</p>
担当者	<p>指定管理者制度の導入については、メリットとデメリットが存在している。</p> <p>指定管理者制度導入のメリットとしては、民間活力の導入による経費削減である。デメリットとしては、図書館が提供しなければならない行政サービスの低下を招いていることが挙げられる。</p>
委員	<p>上戸田地域交流センターの図書冊数が増加しており、利便性が向上したと個人的に感じているところであり、更に利便性の向上に取り組んでもらいたいと考えている。</p> <p>また、不登校生徒が通学の場所として利用できるようにするなど、図書館施設をもっと多様な場として活用することも視野に入れてみても良いと考えるがい</p>

<p>担当者</p>	<p>かがか。</p> <p>施設の利便性の向上については、継続的に取り組んでまいりたいと考えている。</p> <p>また、不登校生徒が通学の場所として利用することについては、不登校生徒に適切に接することのできる専門職員がいないため、現状では実現困難であると考えている。</p> <p>しかしながら、今後、図書館施設をもっと多様な場として活用することができるよう、検討してまいりたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>図書館と学校の図書室の連携はいかがか。</p>
<p>担当者</p>	<p>学校図書室の本の修繕方法に関する出前講座などを実施しており、学校図書室との連携に取り組んでいる。</p> <p>なお、現在は出前講座の申請があつて、講座を実施するという受け身的な方法となっているので、能動的に働きかけるなどして連携強化に取り組んでいきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>児童に対する出前講座のようなものは行っていないのか。</p>
<p>担当者</p>	<p>児童に対しても、図書館での本の借り方などについて現場で説明し、また、職員が学校に出向いて調べもの学習の説明をしている。</p>
<p>委員長</p>	<p>○「施策の進捗状況」について</p> <p>続いて、「施策の進捗状況」について、質問させていただく。</p> <p>委員の皆さん、質問願う。</p>
<p>委員</p>	<p>行政評価シート「施策の指標における成果（主な指標）」の児童・生徒の受入人数とあるが、本指標は教育委員会の意図によって、受入人数を操作できるため、指標としては不適切であると考えるがいかがか。</p> <p>また、行政評価シート「結果と今後の方向性」の説明（総評）の中で、武蔵浦和図書館の開設により、利用者が減少したとの記載があるが、因果関係は分析しているのか。</p>
<p>担当者</p>	<p>児童・生徒の受入人数については、委員の言うとおりに、指標として不適切であるので、第4次総合振興計画後期基本計画において、本指標を削除するように検討している。</p> <p>また、武蔵浦和図書館の開設に伴う利用者の減少についての厳密な分析はしていないが、武蔵浦和図書館の立地が良いことと戸田市民であっても浦和の方が近いという市民もいるため、武蔵浦和図書館に利用者が流れたと考えている。</p>

委員	図書館の会館時間の延長により、利便性が高まったと感じているところであるが、その効果が分かるようなアンケート調査を実施しているか。
担当者	アンケート調査は実施していないが、館長への手紙という制度を整備した。それに加えて、館長への手紙といった定型の方式だけではなく、誰もが意見を出しやすいように付箋を貼るだけで意見を述べることのできる仕組みなども実施した。 なお、館長への手紙については、蔵書に関する意見が多かった。その中でも、漫画を置いてほしいという意見が特に多かった。
委員	単純な漫画ではなく、教育につながる漫画文庫というような、本を置く予定はないのか。子どもが楽しみながら学ぶことのできる方法を取り入れないのか。
担当者	歴史に関する漫画文庫については、既には配置しているところなので、歴史以外の分野の教育漫画についても、検討していきたい。
委員長	図書館に関する計画は策定しているか。
担当者	図書館に関する計画は策定していないが、以前外部評価された時に図書館に関する計画を策定した方が良いとの指摘もあったため、現在策定中である。 なお、策定がこの時期になった要因としては、議会から提出された図書館改革に関する提言書の提出を待っていたためである。
委員長	電子化に向けた取組は実施しているのか。
担当者	関係各課職員と研究会を立ち上げて検討しているところである。 現在の考え方として、書籍の電子化には、多額の費用が掛かるため、電子化は困難であると考えているところである。
委員長	行政評価シート「施策の指標における成果（主な指標）」のその他施策の取組事項に係る成果の中で、市民意識調査の結果が記載されており、利用頻度が43.2%とされているが、この設問内容はどのようなものか。
担当者	設問自体は「あなたは、図書館をどの程度利用していますか」となっており、良く利用する、たまに利用するの合計が43.2%となっている。
委員	その結果からすると半分以上が利用していないということか。
担当者	そのように解することができる。

	<p>なお、3分の1が利用の必要がないとの回答をしている。</p>
委員長	<p>行政評価シート「施策の指標における成果（主な指標）」の図書資料などの貸出点数について、利用者数を指標として設定せず、貸出点数を指標としているということは、既に図書館に来ている市民が読書する本の数を増やすよう、行政として取り組んでいると解して良いのか。</p>
担当者	<p>利用者数とするとカウントする際に重複する人もいるため、貸出点数を指標として設定している。また、図書館を利用するということは、本を借りるということが主たる目的であると判断したため、貸出点数を指標として設定したところである。</p>
委員長	<p>貸出点数を指標として設定している理由は理解したが、貸出点数だと既存の利用者に対する取組を実施していくと判断でき、利用者数とすると普段使っていない人が図書館を利用するようになる取組を実施していくと判断できる。指標の設定は政策的な判断につながるので設定に当たっては熟慮されたい。</p>
担当者	<p>その意見を踏まえて、指標設定を検討したい。</p>
委員長	<p>○「資源の方向性」      続いて、「資源の方向性」について、質問させていただく。      委員の皆さん、質問願う。</p>
委員	<p>図書館の建て替え等の計画はあるのか。</p>
担当者	<p>公共施設の維持管理については、大規模な修繕等で対応していく予定であり、建て替えを実施する予定はない。</p>
委員	<p>今後、図書館の分館を増築していく予定はあるか。</p>
担当者	<p>新しく図書館の分館を建設する予定はない。</p>
委員長	<p>○「その他意見」について      「その他意見」について、質問させていただく。      委員の皆さん、質問願う。</p>
委員	<p>「知の拠点」とは、端的に示すと何か。</p>
担当者	<p>「知の拠点」とは、図書館に来た人たちが本などに触れることにより、学びの場となるようにしたり、知的好奇心を満足させたりする場であるなど学習や研究</p>

	<p>を行う場として活用してもらおう拠点だと考えている。</p>
委員長	<p>戸田市の図書館が先進的に取り組んでいることはあるか。</p>
担当者	<p>現時点ではないが、将来的に先進的な図書館になれるよう、努めたい。</p>
委員	<p>川口市の図書館など他自治体の図書館と連携はしているのか。</p>
担当者	<p>他市の図書館が所有している書籍等の連携はしているところであるが、戸田市の図書カードで他市の図書館を利用することはできない。</p>
委員	<p>他市との図書館連携を充実させたり、子供が興味を持つ図書館の在り方を検討していただき、図書館利用者の拡大に努めてほしい。</p>
委員長	<p>以上で外部評価ヒアリングを終了とする。</p>
	<p>5 閉会</p>